

災害発生時の課題解消に向けて

「災害時における給食支援に関する協定」締結式

町は11月5日、益城町料理飲食業組合と「災害時における給食支援に関する協定」を結びました。

この協定は、熊本地震時における避難所での食事で、栄養バランスなどが課題となったことから結ばれたものです。避難所でバランスが取れたおいしい食事が提供できるだけでなく、災害が発生した場合の食品ロス削減や町内業者への委託による経済活性化にもつながります。

協定締結に際し、山本正一郎組合長は「組合員一丸となって協力していきたい」と話しました。



協定書を掲げる山本組合長と西村町長



屋上に取り残された人をはしご車で救助

万が一火災が発生した場合の備え

町総合体育館で消防訓練

町総合体育館で11月9日、消防訓練が行われました。これは、益城西原消防署が、秋季全国火災予防運動週間に町内事業所1カ所の協力を得て行っているもので、今年は7月に利用が再開した町総合体育館で実施。館内で火災が発生したと想定し、同体育館指定管理者である公益財団法人熊本YMCAの職員による避難誘導や、消防署員と町消防団員による救助訓練などが行われました。訓練後、同法人の本田奈緒子^{ほんだ なおこ}所長補佐は「訓練を生かし、安心して利用できる施設にしたい」と話しました。

売り上げの一部は社会貢献に

宝くじ助成事業で福富地区に屋外無線放送設備を整備

福富地区で9月、コミュニティ助成事業を利用して屋外無線放送設備が整備されました。

コミュニティ助成事業は、一般財団法人自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業としてコミュニティ活動に必要な備品整備などに対して助成を行い、地域コミュニティの発展と住民福祉の向上を図るものです。

屋外無線放送設備が整備されたことにより、福富地区のコミュニティ活動が、今後ますます活性化すると期待されます。



(左)福富公民館に設置された放送設備 (右)屋外スピーカー

Pickup Plus+
今月のプラス



益城町管工事業協同組合が草刈りボランティア

10月24日、益城町管工事業協同組合(北村信也^{きたむらしんや}代表理事)の会員18人が、町水道施設第1配水池の除草作業を行いました。早朝から約半日かけて、同配水池の急で危険な箇所と施設内を各自持ち寄った刈り払い機で除草し、刈り取った草を集積。同組合は、毎年草刈りのボランティアを実施しています。会員の皆さん、ありがとうございました。